

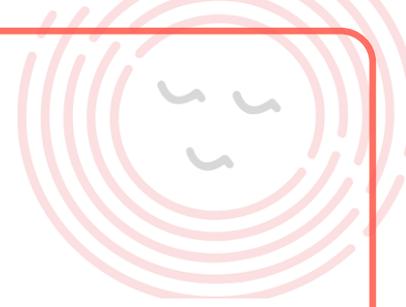


「地域とつながり、社会参加を目指した支援」

社会福祉法人 楽笑
NPO法人start from Miya

理事長 小田 泰久

自己紹介・地域紹介



小田泰久 (おだやすひさ) 社会福祉法人楽笑 NPO法人start from Miya 理事長

1979年生 2007年NPO法人楽笑設立、同理事長就任。障がいのある方もそうでない方も自分の好きな地域で暮らし続けるまちづくりを行うことを理念に蒲郡市の障がいのある方の生活の質の向上と家族の介護負担軽減、地域への啓発に取り組む。16年蒲郡青年会議所理事長。21年社会福祉法人楽笑設立、同理事長就任。現在、持続可能な子どもの居場所の創出に向け、新規事業のコーディネーターを中心業務としている。保育士。
趣味はDIY、自転車、ジョギング。

人口

蒲郡市人口 79,367名(高齢化率 29.5%)

蒲郡市三谷町人口 12,075名(高齢化率 32.4%)

産業

農業(みかん・マイクロトマト)

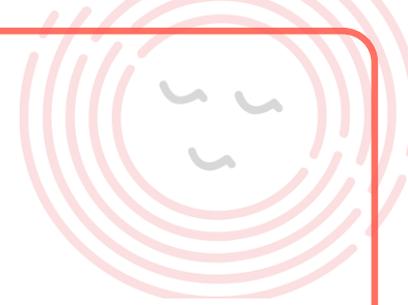
漁業(ニギス・メヒカリ)

繊維業(繊維ロープ・三河木綿)

観光業(温泉・ラグーナ蒲郡)



もう少し三谷町を紹介



町の施設	三谷公民館・三谷中学校・三谷小学校・三谷東小学校
町の産業	漁業(水産加工)・繊維業・観光業
町の文化	三谷祭(毎年10月開催)・6区のお祭り(春祭り・夏祭り)
町の特徴	区ごとの共同体意識が強く、消防団、還暦会、厄年会、子ども会、シニアクラブ等、お祭りがベースになっている土壌になっている。 各区総代会、各区常会、各区年行事、各区保存会等という組織が存在する。

社会福祉法人楽笑の紹介

障害のある方が地域で暮らし続ける事が出来る社会の実現
を目指し、障害福祉事業を実施



放課後等デイサービス



就労継続支援B型・生活介護



相談支援



短期入所

社会福祉法人楽笑の事業内容は、WEBで



RAKUSHO_R30125



VISION
ビジョン

SERVICE
サービス

COMPANY
会社概要

TEAM & RECRUIT
求人



SHINKAを**楽**しめ。
SHINKAを**笑**え。

Enjoy SHINKA, Laugh SHINKA.

VISION



地域×福祉の必要性 地方における地域支援の現状



自宅及びGH、駅から事業所へ通う道中で起こる支援。
本人の能力と意思を尊重した中で起こる支援。
事業所だけではカバー出来ない部分に地域の協力と支援が必要になってくる。
福祉だけではなく、地域を対象とした事業を行うことで、協力者と理解者に繋がり、その方々が担い手となり、地域で暮らすセーフティネットとして機能する。

地域×福祉の必要性 なぜまちづくりが必要なのか



障害者施設の立上げ準備。
でも、地域の方から思わぬ反応が・・・。



治安が悪くなる。
障害者は三谷にはおらん。
誰が責任を取るんだ。
全力で反対される。
トドメの一言。
大変なのは障害者だけ
じゃないぞ！

事業構築ワーキンググループ

地域の困りごとや課題をそれぞれの立場が持つリソース(資源)を活かす場として地域全体で意見交換



多機関を掛け合わせる、参加を促進するために求められる事。地域の課題の状況(ソリューション)や内容に応じて、打ち合わせや折衝交渉、プロジェクトなどの企画作りや企画の提案、また現場の橋渡しができる、ディレクション能力が求められる。





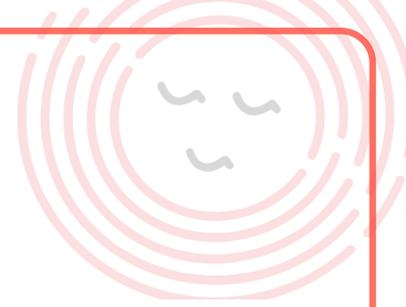
蒲郡市社会福祉協議会生活支援コーディネーターが運営する、地域支え合い座談会。支援が必要な様々な課題が出ている。そこで重要なのは、障害者が出来る、出来そうな仕事を探すのではなく、地域の困り事を担うという発想。とりあえずやってみることから地域の関係性が構築できる。



地域と共に活動する実践

事例1: 高齢者の通いの場





〇〇マルシェ（高齢者の通いの場）

高齢者の通いの場で起こる「参加者が固定化する」課題を解決する為に「マルシェ」を開催。

マルシェのテント準備や机の配置などの設営は力仕事メインになることから、**楽笑に通所する障害のある方と一緒に準備**をして交流を図る。

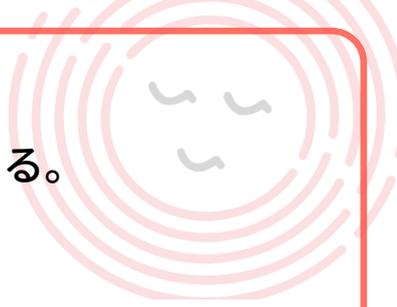
地域の出店者は、マルシェの設営を手伝ってくれるメンバーとして障害のある方を迎え入れ、障害のある方は、必要とされることから**自己肯定感が高まり、通う、働く**という動機付けになる。

出店者の負担も減り、持続したマルシェの運営の一助になっていることが結果として**介護予防やいきがづくりの創出に繋がり、障害のある方が地域で暮らす社会的価値**になっている。

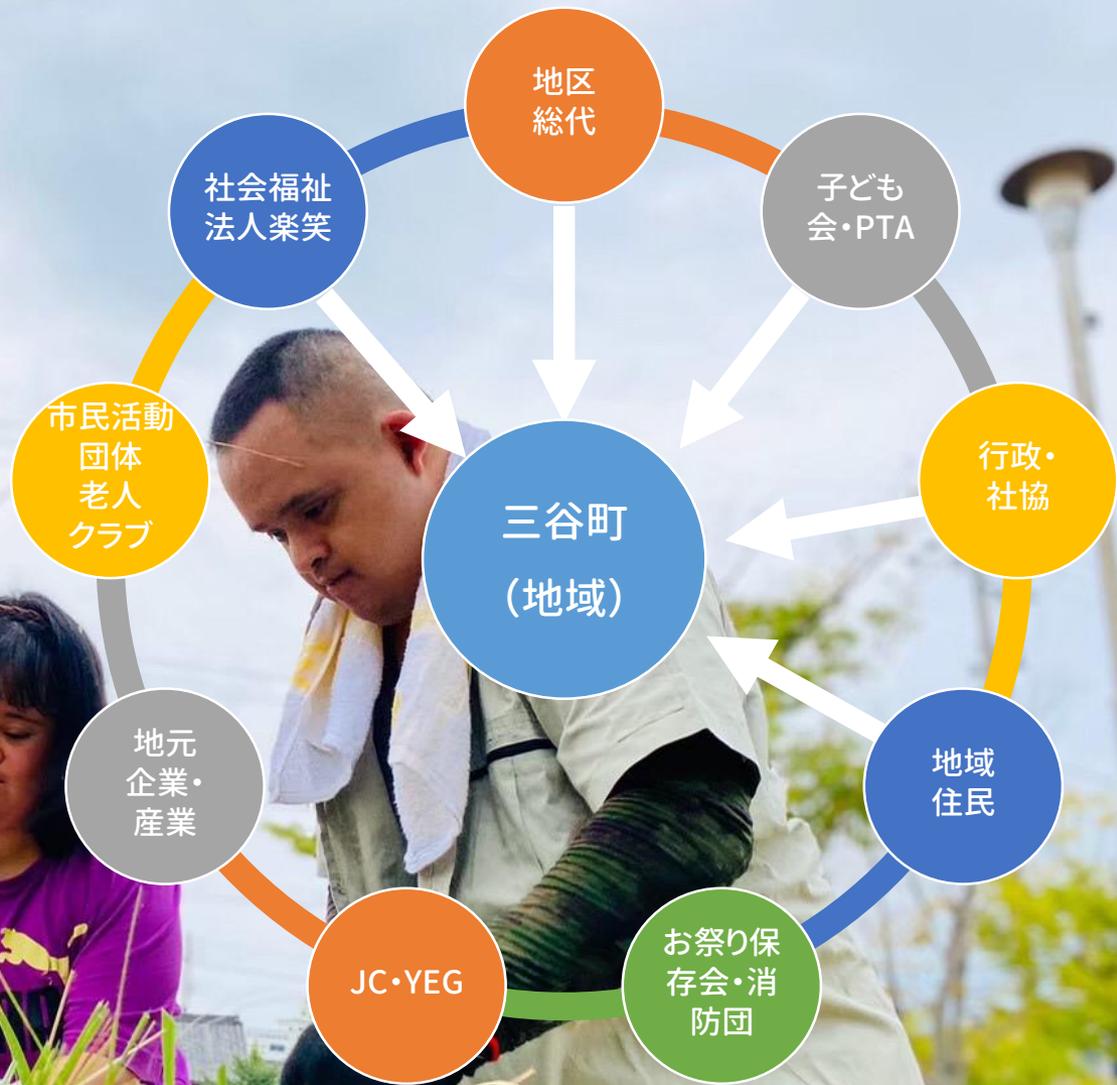


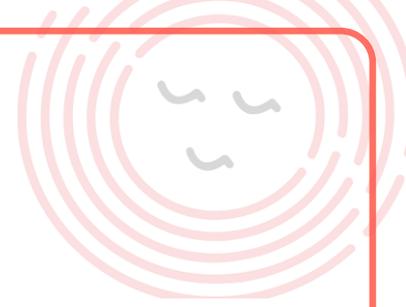


広告や新しい仲間を広げるといった役割から主体性の醸成に繋がる。
若い世代の担い手づくりとして。



矢田公園 清掃





公園掃除交流事業

町内にある公園掃除は、各地区の子ども会が役割を担っている。しかし、少子化と休日の過ごし方、習い事の多様化から子ども会の地域清掃に参加する人数が減少し、継続が難しいと声があがる。

地区総代から依頼があり、子ども会との協議の結果、従来の委託費で楽笑（生活介護、就労継続支援B型）が担うことになる。

ただ、仕事を請け負うのではなく、子ども会と障害のある方との交流イベントを共に企画し、福祉教育を兼ねる取り組みを年に数回開催する。

保護者を巻き込んだ交流により地域での理解者が増え、暮らしの安心につながっている。



15m





三河温室
園芸組合
つま菊梱包



地区
総代

子ども
会・PTA

社会福祉
法人楽笑

行政・
社協

三谷町
(地域)

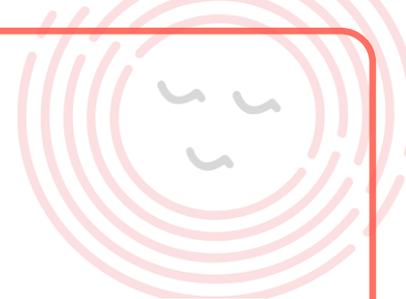
市民活動
団体
老人
クラブ

地域
住民

地元
企業・
産業

JC・YEG

お祭り保
存会・消
防団



食用菊梱包事業（農福連携）

蒲郡市は全国でも有数の食用菊の産地。しかしながら、コロナウイルス感染症により販売先が休業を余儀なくされ、生産物が行き場がなくなっている。担い手の高齢化や出荷の不安定さから三河温室園芸組合より連携の依頼。

食用菊の梱包作業が障害特性にマッチングし、作業効率もあがり、生産数もあがり、所得の向上につながっている。

今回の連携から三河温室園芸組合が取り扱う、マイクロマトや食用ほおずき等を使ったサラダを開発。キューピーマヨネーズとのコラボレーションで雑誌やテレビで取り上げられ、蒲郡の特産物をシティーセールスしたことから経済的価値につながる。



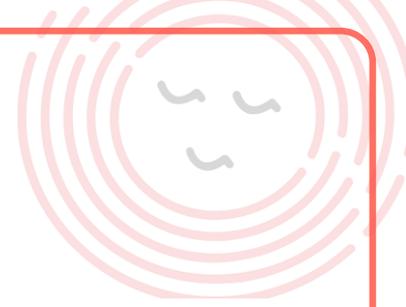


CAMP & LANDSCAPE
I REMEMBER WHAT TREES AND SEASONS DID FOR ME
Camp Site

REMEMBER WHAT TREES AND SEASONS DID FOR ME
REMEMBER WHAT TREES AND SEASONS DID FOR ME
REMEMBER WHAT TREES AND SEASONS DID FOR ME
REMEMBER WHAT TREES AND SEASONS DID FOR ME

地元の味覚をふんだんに。不足した野菜を補える手軽なトースト





社会参加から生まれる、 目に見えない価値の重要性

これらの事例から言えることは、目に見える賃金や工賃という価値だけではない、障害のある方の社会参加から生まれる「目に見えない価値」があるということ。

それは、人と人との信頼やお互いの強みを活かす関係性、そして助けあうことをあたりまえにする文化。この目に見えない価値の創造こそが地域で共に生きる中で重要な考え方である。



障害のある方が地域とつながり、
共に暮らすという事

地域(〇〇市〇〇町)の暮らしを豊かにする。

「地域共生社会を創る(目指す)べきだ」

というアドバイスではなく、

「地域共生社会になったほうが、心豊かな暮らしができる」

という「事実」を理解して頂きたい。